

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- オープンキャンパス雑感  
入学センター所長 文学部教授  
瀧音 能之
- 2014年度「学生による授業アンケート」(前期) 集計結果
- グローバルな世界の読み書き  
「国際関係とメディア」の実践について  
グローバル・メディア・スタディーズ学部  
准教授 芝崎 厚士
- FD推進委員会の今後の活動予定
- 2014年度「学生による授業アンケート」(後期) 実施のお知らせ
- 2014年度「公開授業」実施のお知らせ

## オープンキャンパス雑感

入学センター所長  
文学部教授 瀧音 能之

7月・8月に各々2日間、9月に1日の計5日間にわたって設定された今年度のオープンキャンパス(以下OC)も無事、すべての日程を終了することができた。

それにしても今年の暑さは、尋常ではなかった。それにもかかわらず、7月も8月も多くの来場者を迎えることができ、どの日も5000人に迫る数となった。そのような中、9月のOCも合わせてトータルで21450人というかつてない大規模な全学を挙げての行事となっている。

しかし、来場者の多さにばかり浮かれてはいられない。この猛暑の中、どうしても数が伸びたのかについてクールに分析することが重要であろう。

昨今のOCには、いくつかの傾向があるようである。1つは、1・2年生からの参加である。これは、高校側がOC巡りを夏休みの課題としていることが背景にある。来場してすぐに立ち去る高校生がいるが、これなどはまさにその典型といえるであろう。また、保護者の方々の増加も傾向の1つとしてあげられ、ご両親でみえることもまれではない。このことは、当然のことながら生徒の受験校選びに保護者の方々の影響が大きくなっていることをものがたっている。

それでは、OCの入場者数と本番での受験者数との相関関係はどうであろうか。これは難しい問題で、中には入場者の数を増やしてもそれが直接、受験者の増加にはつながらないという意見もある。しかし、本学の場合、7月・8月に来てくれた生徒の約50%、9月の場合は約80%が受験しているというデータがある。もちろん、データは年々変化するものであり絶対とは言えない。しかし、本学の場合、現場の感触とこのデータとの間に、齟齬はないように思われる。

なぜかという、それは、OCの実施の方法にある。入学センターは、入試課と広報課とからなっており、OCは、広報課が中心となって開催される。しかし、準備段階から入試課も含め入学センター15名の職員が総掛かり態勢で取り組んでいる。これに協力学生が加わる。いわば、手作りのOCである。来場者からのアンケートに、駒大生の明るさ・熱心さ・親切さが多数あげられているのだが、これは決してリップサービスではないと思う。職員たちは、こうした中でその年のOCの手ごたえを身をもって体感し、教員にも模擬授業等で体感していただいている。これが、本学の最大の強みである。

暑い中、定期試験期間中あるいは夏季休業中にご協力いただいた教職員の皆様に改めてお礼を申し上げますとともに、今後のOCへの更なるご協力を切にお願い申し上げます次第である。

## 2014年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2014年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。今回からC-Learningを利用したWeb上での回答となった。

実施日	平成26年6月2日(月)～6月21日(土)
対象科目	1,265科目
対象者数	83,286人(延べ人数)
実施科目数	1,265科目
有効回答数	46,822件(56.2%)

### 【質問項目】

Q1. 所属学部学科等

Q2. 学年

Q3. あなたの学生番号・氏名を担当教員に公開してよいか(※この設問で「公開する」を選択しても、実際に学生番号・氏名が公開されるわけではありません)。

Q4. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

Q5. この授業に何回欠席しましたか。

1: 7回以上 2: 5～6回 3: 3～4回 4: 1～2回 5: 0回

Q6. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)

1: その他

2: 必修科目または選択必修科目だったから

3: 周りの人に勧められた

4: 資格の取得

5: シラバスを読んで興味を持った

Q7. この授業の予習・復習にあてた時間は1週間に何時間くらいでしたか

1: 1時間未満

2: 約2時間

3: 約3時間

4: 約4時間

5: 4時間以上

Q8. 授業に熱心に取り組みましたか。

Q9. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

Q10. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていたか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

Q13. 教科書・資料・教材・器具・用具等は効果的に使われていましたか。

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

Q15. 教員の話し方や説明の仕方は適切と思えましたか。

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。

Q17. 授業内容に興味を持ってましたか。

(Q8～17 選択肢)

1: そう思わない

2: あまりそう思わない

3: どちらとも言えない

4: そう思う

5: 全くそう思う

Q18. ～Q20. 担当教員による個別質問

Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

Q23. 担当教員による個別質問

【氏名公開の可・否の併用、学年別平均値】

授業改善に対する学生の誠実、真剣な意見・要望を集約できるようにするため、学生が氏名公開をするかしないかを選択する方式となっている。氏名公開の可否の割合は、図1のとおりである。氏名公開の可否別の平均値は表1のとおりである。また、学年別の平均値は、表2のとおりである。

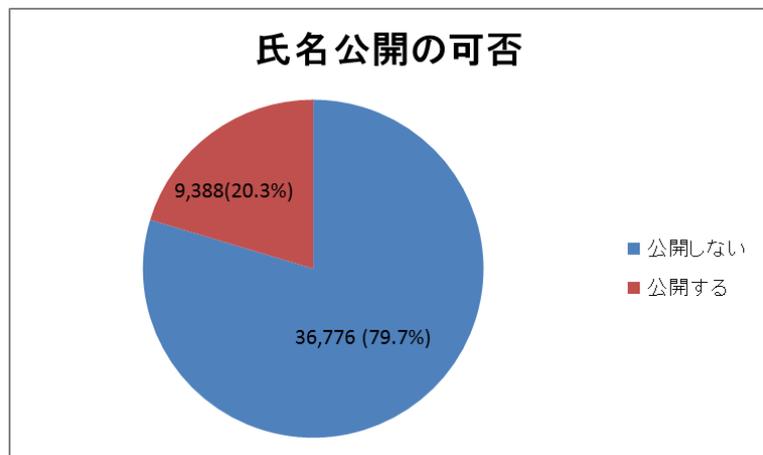


図1 氏名公開の可否の割合

表2 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q5平均値	4.2	3.9	3.8	3.5	0.0
Q6平均値	2.6	3.1	3.7	3.8	0.0
Q7平均値	1.3	1.3	1.2	1.3	0.0
Q8平均値	4.0	3.8	3.8	3.9	0.0
Q9平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	0.0
Q10平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	0.0
Q11平均値	4.2	4.2	4.2	4.4	0.0
Q12平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	0.0
Q13平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	0.0
Q14平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	0.0
Q15平均値	4.1	4.0	4.0	4.2	0.0
Q16平均値	3.9	3.8	3.8	4.0	0.0
Q17平均値	3.9	3.8	3.9	4.1	0.0
有効回答数	20,971	14,553	7,294	3,346	0

	公開する	公開しない
Q5平均値	4.0	4.0
Q6平均値	3.0	3.0
Q7平均値	1.3	1.3
Q8平均値	4.1	3.8
Q9平均値	4.5	4.3
Q10平均値	4.6	4.4
Q11平均値	4.4	4.2
Q12平均値	4.2	3.9
Q13平均値	4.3	4.0
Q14平均値	4.5	4.2
Q15平均値	4.3	4.0
Q16平均値	4.1	3.8
Q17平均値	4.2	3.8
有効回答数	9,388	36,776

表1 氏名公開の可否別の平均値

## 【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q4）。なお、回答は任意とした（回答率98.7%）。（表3 入試形態別の項目別平均値）

表3 入試形態別の項目別平均値

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q5 平均値	4.0	3.9	4.1	3.7	4.1	3.9	4.6	3.9	3.9	3.7	3.8
Q6 平均値	3.0	3.0	3.0	2.8	3.0	3.0	3.4	3.3	3.3	2.9	3.1
Q7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.6	1.4	1.4	1.5	1.5
Q8 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.2
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4
Q11 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.4	4.1	4.4	4.3	4.1
Q12 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.2	4.0	4.1	3.9	3.8
Q13 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	4.3	4.0	4.1	4.1	3.9
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.1
Q15 平均値	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	4.2	4.0	4.2	3.9	3.9
Q16 平均値	3.9	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8	4.1	4.0	3.9	3.7	3.6
Q17 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	3.7	3.7
有効回答数	24,703	4,018	4,770	1,399	4,753	4,738	595	93	342	152	601

【学部学科・専攻・部門別集計結果】

授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表4 教員所属の学部・専攻・部門別平均値

※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値	-	-	-	3.9	3.9	-	4.6	4.6	-
Q6 平均値	-	-	-	2.8	2.8	-	2.0	2.0	-
Q7 平均値	-	-	-	1.1	1.1	-	1.1	1.1	-
Q8 平均値	-	-	-	3.3	3.3	-	4.1	4.1	-
Q9 平均値	-	-	-	3.9	3.9	-	4.5	4.5	-
Q10 平均値	-	-	-	4.1	4.1	-	4.7	4.7	-
Q11 平均値	-	-	-	4.1	4.1	-	4.2	4.2	-
Q12 平均値	-	-	-	3.7	3.7	-	4.0	4.0	-
Q13 平均値	-	-	-	3.8	3.8	-	4.1	4.1	-
Q14 平均値	-	-	-	3.8	3.8	-	4.3	4.3	-
Q15 平均値	-	-	-	3.5	3.5	-	4.2	4.2	-
Q16 平均値	-	-	-	3.0	3.0	-	4.0	4.0	-
Q17 平均値	-	-	-	3.2	3.2	-	3.9	3.9	-
有効回答数	-			59			117		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値	4.1	-	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	3.7
Q6 平均値	2.4	-	2.4	3.7	3.6	3.9	3.6	3.2	4.1
Q7 平均値	1.4	-	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2
Q8 平均値	3.8	-	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
Q9 平均値	4.1	-	4.1	4.3	4.4	4.1	4.4	4.5	4.2
Q10 平均値	4.3	-	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.5
Q11 平均値	4.0	-	4.0	4.1	4.2	3.8	4.4	4.4	4.3
Q12 平均値	3.7	-	3.7	3.8	3.9	3.6	4.1	4.0	4.2
Q13 平均値	4.1	-	4.1	3.9	4.0	3.8	4.2	4.2	4.2
Q14 平均値	4.1	-	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.4	4.3
Q15 平均値	4.0	-	4.0	3.9	3.9	3.8	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値	3.7	-	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8
Q17 平均値	3.4	-	3.4	3.8	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0
有効回答数	184			1,034			621		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値	4.4	4.4	4.2	4.0	4.4	3.8	4.5	4.7	4.4
Q6 平均値	2.5	2.2	4.0	3.9	2.0	4.5	3.4	2.6	3.9
Q7 平均値	1.2	1.0	1.9	1.1	1.0	1.1	1.3	1.1	1.4
Q8 平均値	3.9	3.8	4.3	3.9	3.8	3.9	4.0	4.2	3.9
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.8	4.7	4.9
Q11 平均値	4.3	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.5	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.5	4.3
Q14 平均値	4.3	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.6	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.5	4.2
Q16 平均値	4.0	4.0	4.2	3.9	4.3	3.8	3.9	4.2	3.7
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.4	3.9
有効回答数	149			191			134		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.1	4.0	3.9	-	3.9
Q6 平均値	3.5	3.4	3.6	4.0	3.7	4.1	4.3	-	4.3
Q7 平均値	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	-	1.1
Q8 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	-	3.9
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.4	-	4.4
Q10 平均値	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.4	4.6	-	4.6
Q11 平均値	4.2	4.4	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	-	4.3
Q12 平均値	3.9	4.1	3.9	4.2	4.2	4.1	4.0	-	4.0
Q13 平均値	3.9	4.0	3.8	4.2	4.2	4.1	4.0	-	4.0
Q14 平均値	4.1	4.2	4.1	4.4	4.5	4.3	4.2	-	4.2
Q15 平均値	3.9	4.0	3.8	4.3	4.4	4.2	4.1	-	4.1
Q16 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.8	-	3.8
Q17 平均値	3.8	3.9	3.7	4.1	4.1	4.1	4.0	-	4.0
有効回答数	1,155			976			608		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	3.8	3.9	3.7
Q6 平均値		3.5	3.3	3.6	3.4	3.4	3.9	3.5	3.4	3.8
Q7 平均値		1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.6	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値		3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8
Q9 平均値		4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値		4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値		4.0	4.0	4.0	3.7	3.8	3.5	3.9	3.9	4.0
Q13 平均値		4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値		4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2
Q15 平均値		4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.7	4.0	4.0	4.1
Q16 平均値		3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.4	3.7	3.7	3.8
Q17 平均値		3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9
有効回答数		5,944			2,197			2,353		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		3.9	4.0	3.9	3.8	3.9	3.8	4.0	4.1	4.0
Q6 平均値		2.6	2.2	3.6	3.3	2.9	3.5	3.0	2.0	3.7
Q7 平均値		1.4	1.5	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.2
Q8 平均値		3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	4.0
Q9 平均値		4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3
Q10 平均値		4.0	4.0	4.2	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5	4.4
Q11 平均値		4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値		3.4	3.3	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9
Q13 平均値		3.6	3.6	3.6	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1
Q14 平均値		3.9	3.9	4.0	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
Q15 平均値		3.6	3.5	3.7	4.1	4.2	4.0	4.0	4.1	3.9
Q16 平均値		3.4	3.3	3.5	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8
Q17 平均値		3.5	3.4	3.7	3.9	4.0	3.9	3.8	3.7	3.8
有効回答数		562			706			553		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		3.9	4.0	3.8	4.4	4.5	4.4	3.8	3.7	3.9
Q6 平均値		3.0	2.8	3.7	2.1	2.1	2.1	2.7	2.8	2.6
Q7 平均値		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.5	1.3	1.7
Q8 平均値		3.8	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	4.2
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値		4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値		4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.4
Q12 平均値		3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1
Q13 平均値		3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1
Q14 平均値		3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3
Q15 平均値		3.7	3.7	3.7	3.9	3.8	3.9	4.0	3.8	4.2
Q16 平均値		3.5	3.6	3.4	3.7	3.7	3.7	3.9	3.7	4.0
Q17 平均値		3.6	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	4.1
有効回答数		714			1,182			4,416		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	-
Q6 平均値		3.7	3.3	4.2	4.0	3.9	4.2	4.0	4.0	-
Q7 平均値		1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	-
Q8 平均値		3.7	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	-
Q9 平均値		4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	-
Q10 平均値		4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	-
Q11 平均値		4.2	4.1	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	-
Q12 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	-
Q13 平均値		4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	-
Q14 平均値		4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	-
Q15 平均値		4.0	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	-
Q16 平均値		3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	-
Q17 平均値		3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	4.0	4.1	4.1	-
有効回答数		579			2,627			1,300		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3
Q6 平均値		2.2	2.5	2.2	2.3	2.3	2.2	3.0	3.0	3.0
Q7 平均値		1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.1	1.2	1.1
Q8 平均値		3.8	3.7	3.8	4.0	4.0	4.0	4.5	4.5	4.5
Q9 平均値		4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.6
Q10 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値		4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5
Q12 平均値		3.8	3.7	3.8	4.0	4.0	4.0	4.5	4.5	4.5
Q13 平均値		4.1	3.9	4.1	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値		4.1	4.0	4.1	4.3	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値		3.9	3.7	3.9	4.2	4.2	4.1	4.6	4.5	4.6
Q16 平均値		3.8	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9	4.5	4.5	4.5
Q17 平均値		3.7	3.5	3.7	3.9	3.9	3.9	4.5	4.5	4.5
有効回答数		9,230			3,666			2,847		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤
Q5 平均値		4.1	4.1	4.1
Q6 平均値		3.8	3.8	3.8
Q7 平均値		1.1	1.1	1.1
Q8 平均値		3.9	3.9	4.0
Q9 平均値		4.5	4.5	4.5
Q10 平均値		4.6	4.7	4.5
Q11 平均値		4.3	4.3	4.3
Q12 平均値		4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		4.2	4.2	4.2
Q14 平均値		4.4	4.4	4.3
Q15 平均値		4.2	4.2	4.2
Q16 平均値		4.0	4.0	4.0
Q17 平均値		4.0	3.9	4.0
有効回答数		2,060		

## 「学生による授業アンケート（前期）」集計結果について

2014年度前期授業アンケートは、前年度と概ね同様の評価項目で実施された。以下の問いの文言を一部修正し、これまで質問項目としていなかった4項目(Q1所属学部、Q2学年、Q3学生番号・氏名の公開の有無、Q4入学試験形態)を加えた形をとり、例年Q1の評価項目をQ5からとした。Q5以下の質問項目は全部で19問(自由記述を含む)と例年通りであった。系統別に分けると、例年通り、「学生の自己評価」(Q5~Q8)、「教員の授業運営に関する評価」(Q9~Q12)、「教員の授業への取り組みに関する評価」(Q13~Q17)、「担当教員による個別質問」(Q18~Q20)、「授業の良かった点・改善してほしい点(自由記述)・担当教員による個別質問」(Q21~23)の5つのジャンルで構成される。

有効回答数は、46,822件と、前年度と比較すると2.42倍と増えたことになるが、これは対象科目数が、前年度461科目から1,265科目に増加したことにより、対象者数が33,618人から83,286人(延べ人数)に増えたことによる。半期科目の増加が顕著となって現れた結果である。

文言の微調整を記しておく、前年Q11「教え方はわかりやすかったですか。」をQ15「教員の話し方や説明の仕方は適切と思いませんか。」と変え、「教え方」の内容を具体的に示す問いにした。またQ12「この科目の授業内容をどのくらい理解できましたか。」をQ16「この科目の授業内容についてよく理解できましたか。」と変え、回答しやすい問いに直した。Q13「この授業で受けた知的刺激に対する満足度はどうでしたか。」については、Q17「授業内容に興味を持ってましたか。」という平易な質問形式とした。

まず、氏名公開の可・否については、「公開する」が9,388(全体の20.3%)、「公開しない」が36,776(全体の79.7%)となり、前年度前期の記入有14.6%と比較すると「公開する」の割合が5.7ポイント増え、更に前年度後期の記入有8.9%と比較すると11.4ポイントの増加となり、例年指摘されていることではあるが、氏名公開可のスコアの方が全ての評価項目について良好な結果がみられる。氏名記入者はアンケートへの責任ある回答が求められているという心理に働き、授業への満足度がより高い傾向にあると考えられる。

次に学年別でみると、有効回答数は、1年生20,971(全体の45.4%)、2年生14,553(全体の31.5%)、3年生7,294(全体の15.8%)、4年生3,346(全体の7.2%)と、例年通り、学年が上がるにつれて減る傾向は変わらない。しかし、前年度同期の学年別割合が39.3%、29.9%、19.24%、11.0%であったことと比較すると、1年生の有効回答数は39.3%から45.4%に増加したものの、4年生の有効回答数が11.0%から7.2%に減り、4年生の有効回答数の減少傾向が大きいことがわかる。選択している授業数が減ることに加えて、就職活動等、学外での活動が増加することにより授業への出席が益々減っていることが考えられるのではないだろうか。このサンプル数の違いを考慮に入れて各評価項目をみてみよう。学年が上がるごとにスコアが著しく上がった項目はQ6(2.6→3.1→3.7→3.8)である。授業を履修した理由を問う項目であるが、学年が上がるにつれて、「2:必修科目または選択必修科目だったから」→「3:周りの人に勧められた」→「4:資格の取得」→「5:シラバスを読んで興味を持った」となり、授業を履修した動機が具体的で明確になっている。同時Q14~Q17の項目についてもスコアが一定して高くなり、学年が上がるに連れて授業内容についての満足度が高くなっている。即ち、シラバスをしっかりと読み、目的をもって授業に臨む姿勢の表れではないだろうか。

続いて2010年度より追加された質問として「入試形態別の項目別平均値」を注意深くみてみると興味深い結果がわかる。その形態は留学生特別入試により入学した学生であることがみてとれる。有効回答数は595と、この項目の有効回答数41,411の内1.4%と極わずかではあるが、全ての項目で他の形態と比較して最も高いスコアを出している。留学生の満足度が比較的高い傾向にあることがわかる。本年度はどの項目も低い形態は特にみられなかった。

学部学科、専攻、部門別については以下の通りである。Q5~Q8「学生の自己評価」のジャンルでは、欠席回数が最も少ない4.7ポイントの文学部歴史学科考古学専攻が最も高く、授業履修の理由で資格取得やシラバスの検討をあげて高得点であったのは文学部歴史学科外国史学専攻の4.5ポイントが際立った。また授業への熱心な取組の項目では、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門の4.5ポイントが突出している。Q9~Q12「教員の授業運営」の

ジャンルでは、Q10 休講が最も少なかったのは文学部歴史学科考古学専攻の 4.9 ポイント。シラバスの反映や進み具合で好評価であったのは文学部歴史学科考古学専攻と、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門の 4.5 ポイントであった。Q13～Q17「教員の授業への取組」のジャンルでは、教員の話し方、授業の理解度、興味をもてたかどうかの項目で、こちらも文学部歴史学科考古学専攻 4.6、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門の 4.5 という結果である。有効回答数の少ない学科が総じて好評価を獲得していることは確かである。

最後に専任と非常勤の比較であるが、今年度は両方の有効回答のある学部学科・専攻・部門は、計 22 となり、そのうち 14 の学部・部門において、非常勤の方が専任よりも評価が高かった（文学部歴史学科日本史学専攻、同学部同学科外国史学専攻、経済学部経済学科、同学部商学科、同学部現代応用経済学科、法学部法律学科、経営学部経営学科、同学部市場戦略学科、医療健康科学部、GMS 学部、総合教育研究部文化学部門、同研究部自然科学部門、同研究部外国語第一部門、同研究部スポーツ・健康科学部門）

以上、2014 年度前期授業評価アンケートの分析結果である。学生授業評価アンケートが実施されて昨年で 10 年。今年は 11 年目に入り、C-Learning による実施という新たな一歩を踏み出した。アンケート内容、実施方法、結果の活用方法など、更に分析を重ね、駒澤大学の益々の発展に寄与することができれば幸いである。

(各務洋子)

## 連載企画：よりよい教育のために

### グローバルな世界の読み書き

#### 「国際関係とメディア」の実践について

グローバル・メディア・スタディーズ学部 准教授  
芝崎厚士

大学教育の課題のひとつは、専門的な学問の構造やその学問が問おうとしている問題を理解させ、その問題を自分で考えられるようにすることである。学者と教育者の資質は本来的に偶然にしか一致しないとやや悲観的に

捉えるマックス・ウェーバーも、同様のことを『職業としての学問』で述べている。

筆者の専門である国際関係研究（国際関係論、国際政治学などの総称）の教育も、この課題を負っている。しかし、国際関係研究は国際関係現象を部分的に切り取る学問であると同時に「この世界とは何か」「世界はこれからどうなるのか」という人間と世界との関係を総体的に問う学問でもある。この総体的な問いは、どのような部分的な問いとも常に有機的な関係を持つ。つまり、どのような部分的な問いからも、総体的な問いを考へることができるのである。そしてこの問いはどんな進路を選ぼうとも、一生人間について回る問いであり、国際関係教育はこの問いの問い方、考え方を身につけさせる使命を担っている。

このような考えをもとに初学者向けの「国際関係とメディア」で筆者が行ってきたのは、新聞・ウェブ記事、教科書的概説、各種映像・音楽作品などを小テスト形式で読み解かせ、すべての作業を記述させ提出させる授業である。

文字・画像・映像・音楽など多様なメディア形式を読み解き、解説を聞きながら B4 の答案用紙両面一杯に書き込む作業によって学生は、常に具体的な問題に即して「自分はどの理解したか」「自分は何を思い、何を考えたか」をその場で答えを出していく。

いわば、学問の基礎を学びつつ、グローバルな世界を自分なりに＝能動的に読み書きし掴み取るレッスンを毎週積み重ねていく。幸い学生にも好評で、オープンキャンパスでこの形式を経験して、入学後受講を楽しみにしていたという学生もいたことはささやかな喜びであった。

この授業については 2012 年の日本国際政治学会などいくつかの学会、研究会で模擬授業を含めた報告を行い、参加者からは概ね好意的に迎えられた。今秋の日本平和学会でもその改訂版の報告を、模擬授業込みで行う。例年後期の土曜三限に開講しているので、ご関心の向きがあれば、いつでも（ただし鉛筆を何本か持参の上）ご参加を歓迎する次第である。

## FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成26年度第4回FD推進委員会小委員会  
平成26年10月2日(木) 16:20～
  - 平成26年度第3回FD推進委員会  
平成26年10月30日(木) 16:20～
- ※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

## 2014年度「学生による授業アンケート」 (後期)実施のお知らせ

実施期間：平成26年11月10日(月)～29日(土)

対象科目：全科目対象(集中講義科目、演習科目、  
受講生が20名未満の科目は除く)

※本年度よりWEBによるアンケートを実施しています  
(PC、スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用して回答されます)。

## 2014年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り11月下旬から12月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術(教授法)について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。

## 編集後記

後期の授業もはじまり、毎日お忙しい日々をお過ごしと思います。さて、今回の「FD NEWSLETTER」は前期の授業の学生アンケートを中心テーマに編集いたしております。今回のアンケートは全てWeb化されてから初めての施行でした。学生さん達も手間どった場面があり、ご指導の先生方には大変お手数をお掛けいたしました。本当にご協力ありがとうございました。今回の「FD NEWSLETTER」の中では、大学全体や各学部ごとの学生さんのアンケートの集約結果を掲載いたしております。各先生方の個人の授業アンケートの結果はもうすでにお手元にあり、それらの結果を基にして、後期の授業を更により良いものへと進化させるべく、熱心に日夜授業改善に取り組んでおられると思います。先生方お手元の詳細な授業アンケート結果に今回の全体像としてのアンケート結果をお加え頂き、学生指導の参考にして頂けると幸いです。他大学の様子を垣間見ますと、学生の授業アンケートを全て公表している所が年々増えております。アンケート結果を見てその大学に興味を持ち、オープンキャンパスに来られる学生さんもいるとの話も聞いております。本大学のFD活動が、アンケート結果だけでは語れない素晴らしい特徴ある先生方の授業を今後とも進化させて頂くための一助になればと思います。

(各務洋子・熊坂さつき)

【タイトル横の写真は、8月のオープンキャンパスの様子】

## FD NEWSLETTER Sep. 2014 第40号

発行日：2014年9月30日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)